User Manual Handlebar / Stem

JP

CANYONのハンドルおよびステムならびにハンドルバー/ステムコンビ

CANYONの製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

お選びになったCANYONコンポーネントは厳選された製品です。間違いなくお客様のご期待に添えるものと存じます。CANYONの製品はドイツ国内で開発・試験・製造を行っており、私どもの細部へのこだわりや情熱が、皆さまに最高水準の品質と安全性をお届けします。

お買い上げのCANYON製品についてわからないことがあったらいつでもお問い合わせください。

CANYON Bicycles GmbH Tel.: 050-3786-8496
Karl-Tesche-Straße 12 info@canyon.com
D-56073 Koblenz www.canyon.com

安全に関する一般的注意事項

高性能のカーボン用具であるCANYONコンポーネントは、取り付けに細心の注意が必要です。CANYON Bicycle GmbHに取り付けそ仮組になるのが一番安心な方法です。そうすれば最適な機能と耐久性が長期にわたり保証できます。

この説明書だけで、自転車整備士の技能を習得することはできません。さまざまな自転車のタイプと各種コンポーネントの整備に関する組合せを、一冊の説明書で網羅することはできません。よって本説明書は、お買い上げになったコンポーネントに関する情報のみを記載しており、最も重要な指示注意事項や警告事項が掲載されています。

そのためCANYONでは、CANYONの整備士の豊富な経験をご利用いただくようお奨めしております。

CANYONをコンポーネントは、可能な限り他社製のコンポーネントと組み合わせて使用しないでください。そうしないと最適な機能、耐久性またその結果としてお買い上げの製品の安全性も確保できません。特にハンドルやステムに関しては一切の変更は禁物です。

他社製コンポーネントと組み合わせる場合には、必ずその仕様について上問合せの上、その適合性確認と設定に注意をはらうことと、互換性がある ことを確認してください。弊社コンポーネント同士の組み合せについては、取り付けが容易かつ適正にできるように、製造および品質検査において製造課程を厳密に監視しています。

本説明書には使用、手入れ、整備、取り付けに関する重要な事項が記載されています。

まずお時間をの一般的な説明をよく読んでから、お買い上げになったCANYONのハンドルやステム、CANYONハンドバーステムコンビに関する各項目を読んでください。特にCANYONコンポーネントネストルームについて取り付けて、不具合の心配なくお使い頂けます。

本説明書は大切に保管してください。CANYONの自転車やコンポーネントを譲り渡すに譲渡した時 譲したりする場合には、その人に本説明書も渡してください。

CANYONのコンポーネントは経最構造コンポーネントですのでいくつか注意しなければならない点があります。コンポーネントの取り付けには細心の注意を払い、意図される使用を遵守してください。

CANYONで使用されている素材、特にカーボン(CRP)を用材はまりは強度と耐性が極めて高くCANYONコンポーネントは非常に負荷に強い反面に、非常に軽量であることが特長となっています。ただしの素材は比較的脆い性質があますので、CANYONのコンポーネントが折れそうになっても、ほとんど変形しないことがあります。

素材に過度の負荷がかかると、見た目ではほとんどわからない損傷が生じる恐れがあります。アルミなどの他の素材のように、曲がったりし損傷の元候が表れることがないからです。

事故などで過度の負荷がかかった後に使用を続けるとCANYONのコンポーネントが破損する恐れがあります。その結果、転倒して深刻な健康の被害が生じる恐れがあります。そのため、お買い上げになったCANYONコンポーネントに関する内容が記載された限にある点検についての注意事項を守ってください。損傷が生じた可能性のある出来事があった場合に、引き続き安全な使用ができることを確認するために、そのコンポーネントをCANYON Bicycle GmbHで点検してもらってください。そのような場合には速やかな対応についてはCANYONにご相談ください。

CANYONの自転車とコンポーネントで未来く快適なライドをお楽しみいただければ幸いです。

初めて乗車する前・意図された用途

CANYONのハンドルおよびステム(**1**)ならびにハンドバーステムコンビ(**2**)は、ロードバイクやトライアスロンバイク(タイムトライアル)、シクロクロスバイクおよびマウンテンバイクおよびそれぞれに指定用途するためのものです。各コンポーネントで許されている用途および規定の条件においてのみコンポーネントを使用してください。

ロードバイクおよびトライアスロンバイクならびにタイムトライアルバイクは、公道走行または今後ならられた造で路面がスムーズな所の走行専用に設計されています。

シクロクロスバイクは、未舗装の農道や林道のようなシクロクロス競技で一般的なオフロードでの使用に適しています。オールマウンテンやエンデューロ、ダウンヒル(DH)、フリーライド、デュアルスラローム、マウンテンバイクライドパーク、ジャンプ、トリップなどでの使用には適していません。

条件1
このカテゴリーのCANYONコンポーネントは、舗装された道を走行するために設計されており、農林が常に路面に損している状態にあります。主にロードバイクで良くトロップバイクやスレートハンドルを備えたものがあり、トライアスロンバイクやタイムトライアルバイクなども含まれます。ライダーの満行品を含めた最大重量120 kgを超えないようにしてください。この許容重量を超えた使用はすべてコンポーネントのメーカーの推奨値によって、さらに制限されることがあります。

マウンテンバイクは、MTBマラソンやクロスカントリーレースなどで一般的なオフロードの走行用に設計されています。しかし、公道で使用するために必要な装備を備えた設計にはなっていません。公道で使用するには、法律の規則に従った装備を整える必要があります。

条件2
カテゴリーのCANYONコンポーネントは、カテゴリー1のバイクの自転車と、こうやじと呼ばれるこれら砂利道やオフロードコースで軽い傾斜を走る自転車用のものです。これらのバイクは、ライダーの体重と荷物の合計が最大120 kgまでの使用に適しています。このカテゴリーに含まれるバイクは、アーバンバイクやシティバイクのほか、シクロクロスバイクでトロップバイクおよびカンチレバーブレーキまたはディスクブレーキを備えたものなどが含まれます。

条件3
このカテゴリーのCANYONコンポーネントは、カテゴリー1および2の自転車と、さらにラフな地ならされていない路面の走行に適した自転車で使用するためのものです。最発的なジャンプも、最高60cmまでの高さについては該当する自転車の使用範囲内です。ただしこの程度の高さのジャンプであっても、未熟なライダーはスムーズに着地できない可能性があり、作用するカが増大して、損傷や負傷につながることがあります。MTBのハードライダや、フルサスペンションでもスムーズの短いタイプのものはこのカテゴリーです。

条件4
このカテゴリーのCANYONコンポーネントは、カテゴリー1~3に記載の使用に適しています。それに加え、非常にラフで凸凹もある路面で傾斜がきつく、それに伴う高速走行に適した自転車を含みます。熟練したライダーが頻繁に戦しジャンプをしても該当するタイプの自転車では問題ありません。ただし、このカテゴリーの自転車を、頻繁かつ長時間にわたりプロ並みのジャンプコースやバイクパークで使用することは避けてください。このカテゴリーの自転車は、負荷がきていため、使用の度に損傷がないかどうかを点検してください。プロフェッショナルのバイクで、エリミネーターのものがこのカテゴリーの代表格です。

条件5
この用途は、非常に難易度が高く、激しい凸凹のある急傾斜の地形で、技術的に要熟した、トレーニング状態が非常に良好なライダーのみが走行できることのできるコースを対象としています。高速走行中に高いジャンプをしたり、滑面のバイクパークやダウンヒルコースを集中的に利用するのも、このカテゴリーの特徴です。このタイプのCANYONコンポーネントおよび自転車では、使用後には必ず損傷がないかどうかを徹底的に点検する必要があります。

損傷のある状態で誤り使用すると、それほど負荷がそもそもなくても部品が折れたりする可能性があります。また、自転車に関わる部品を定期的に交換することも大切です。特殊なプロテクターを必ず装着することを推奨します。フルサスペンションのバイクでロングストロークのものは、ダートバイクもこのカテゴリーの代表的なものです。

⚠ CANYONのハンドルやステム、ハンドルバーステムコンビを絶対に改造しないでください。CANYONのコンポーネントを切断したり、やすりをかけたり、穴を開けたりしないでください。コンポーネントの構造や破損し保証を受けられなくなります。

これに関しては弊社ウェブサイト www.canyon.com 掲載の規定もお読みください。

⚠ CANYONのステムおよびハンドルバーステムコンビは、スレッドレススタイプのAheadsetと呼ばれるステアリングヘッドでのみ使用可能です。スレッドつきのステムとステアリングコラムと使用すると、突然破損することがあり、重大な事故の原因に至る恐れがあります。

⚠ CANYONのコンポーネントや自転車は、ブレーキレバーやブレーキ・シフトレバーについても手が直くるに調整してください。CANYONの認定したホイールセットを使っての走行時には、すべては ブレーキレバーを扱うまでの注意が必要です。エアバーを使っての走行時も同様です。

⚠ バーエンドバーの場合と同様に、エアバーを取り付ける時には、その取り付けをCANYONが認定していることを確認する必要があります。CANYONが認定していない取り付けパーツを使用したり取り付けていたりすると、互換性のない部品をハンドルに取り付けると、ハンドルが破損する恐れがあります。事故の危険があります。

⚠ 常に最新情報複雑の弊社のウェブサイト www.canyon.com もご確認ください。ウェブサイトには、モデルごとに用途範囲が図でも分かり字で表示されています。

自信がなかったり、疑問がある場合には、CANYONサービスホットライン 050-3786-8496 までお問い合わせください。

事故や転倒などで重要が加わった時には、CANYONのハンドルやステム、ハンドバーステムコンビを点検してもらう必要があります。ご自分の安全のためにCANYONサービス部に依頼して点検してもらい、必要に応じて部品の交換や修理をしてもらいまします。

以下の場合には自転車の使用を中止やめて、CANYONサービスホットライン 050-3786-8496 までご連絡ください。

- CANYONのハンドルやステム、ハンドルバーステムコンビから異音がする
- CANYONと上記コンポーネントに切欠や亀裂、へこみ、変色などの外的損傷がある

損傷を確認に検査してもらい、必要がある場合には必ずCANYONのコンポーネントを交換してもらってください。

⚠ エアロハンドルはCANYONの認定がある場合にのみ使用が許される。エアロハンドル(クリップオンバー)を取り付けて走行しない方は、事前にCANYONサービスホットライン 050-3786-8496 までご連絡ください。

⚠ CANYONコンポーネントは、リュックやなどの携行品を合せた ライダー重量最大110kgまでに設計されています。お使いの自転車に重量制限があますのでそちらにもご注意ください。

⚠ CANYONコンポーネントおよびCANYONの自転車は、意図された用途にのみ使用してください。その範囲外の走行形態や重量オーバーなどがあると、コンポーネントないし自転車がその負荷に耐えられず破損する恐れがあります。転倒の原因となる可能性があります。

乗車前に必ず確認

走り出す前に、お使いのCANYONの自転車およびコンポーネントについて以下の点検をおこなってください。

1. システムがステアリングコラムに、またハンドルがシステムにしっかりと固定されていることを確認します。詳細は**「CANYONステムおよびハンドルバー/ステムコンビの取り付け」**および**「CANYONハンドルの取り付けと調整」**の項をご覧ください。
2. ステアリングヘッドに歪が小さく傾きることを確認します(**3**)。**「Aheadsetステアリングヘッドの調整」**の項に記載されているように機能の点検をおこないます。
3. ブレーキレバーとシフトレバーがしっかりと固定されているかどうかを確認します。停車したまま、ブレーキの状態を確認するため、ブレーキレバーをハンドルの方向にしっかりと引きつけます(**4**)。リムブレーキでは、ブレーキ制動時にブレーキ面に均一に当たっていることが重要があります。ブレーキシューがタイヤに触れてはいけません。レバーがハンドルバーにつくまで引けてしまうような状態は許されません。

ディスクブレーキは、手に軽く力を入れただけで、レバーがハンドルからかなり離れている状態で最高に安定してブレーキが作動する必要があります。オイルやブレーキフルードが漏れていたり、ブレーキディスクにひびが入っていたりしていないかを点検してください。制動力が低下し、確実なブレーキ性能が得られなくなる恐れがあります。

非締結お歩いのCANYONの取り付け部品(**5**)の**「ブレーキ」**の項または お持ちの自転車の取扱説明書の該当する項目をご覧ください。

4. この他にも、お使いのCANYONバイクの取扱説明書の**「初めて乗車する前に」**および**「乗車前に必ず確認」**の項または お持ちの自転車の取扱説明書の該当する項目を参照してください。

⚠ Canyonの自転車やコンポーネントにこの項目のそれが該当する不具合がある場合には、自転車には乗らないでください。自転車やコンポーネントに不具合がある場合には、重大な事故につながる恐れがあります。自信がなかったり、疑問がある場合には、CANYONサービスホットライン 050-3786-8496かお買い上げの自転車専門店までお問い合わせください。

⚠ 固定箇所が適正に絞められていなく、CANYONバイクの部品が外れることがあります。重大な転事故につながりかねません。

⚠ CANYONコンポーネントおよびCANYONバイクをまたは他社製の自転車には、路面の形状と、ライダーの自転車に加える力によって、大きな荷重がかかります。このような動的な負荷を受ける各コンポーネントには、劣化や疲労が生じます。劣化の兆候がないかどうか、自転車をこまめに点検して、キズや変形、変色などがないか、またパリな亀裂が入っていないかを確認してください。耐久期間を過ぎたコンポーネントは、何の前触れもなく突然破損することがあります。

⚠ エアロハンドル(ロードバイクおよびトライアスロンバイク)やバーエンドバー(MTB)で走行時は、停止するまでの距離が長くなりますのでご注意ください。ブレーキレバーがすぐ手の届く距離にあありません。

⚠ CANYONサービス部またはお買い上げになった自転車専門店にお使いの自転車を一年一度の期間点検にお持ちいただいて、該当部品を点検し、随時交換してもらってください。

⚠ CANYONバイク取扱説明書か、お使いの自転車メーカーの取扱説明書を走出す前に必ず読むようにしてください。

カーボン素材の注意事項

炭素繊維強化合成樹脂や炭素繊維強化プラスチック(略称カーボンまたはCFRP)を使用したCANYONの製品はどれも、いくつか注意しなければならない点があります。

カーボンは軽量に硬い素材で、軽量で強度の非常に優れたコンポーネントの製造を可能にします。

カーボンは通常の負荷がかかっても(金属のように)変形することはありませんが、内部の繊維構造はすでに限価している可能性があることにご注意ください。損傷のあるCANYONカーボンコンポーネントをそのまま使用し続けると、突然の前触れもなく折れることがあり、転倒や不測の事態に至る恐れがあります。

お使いのCANYONカーボンコンポーネントに強い負荷がかかったことがある場合には、そのコンポーネントを自転車自転車ごとCANYONにお持ちいただいて、検査してもらうことを強くお奨めします。CANYONでは損傷を受けた自転車を点検し、必要がある場合には不良コンポーネントの交換を実施します。お買い上げになった自転車専門店に直接CANYONサービス部と相談をしていただくことも可能です。

損傷のあるカーボンCANYONコンポーネントを修理することは、安全上の理由から許されていません。損傷のあるコンポーネントはすべて交換し、廃にも使わないようにしてください。第三者が使用しないようにコンポーネントを破壊してください。

⚠ カーボンコンポーネントは、絶対に高温にさらしてはいけません。ハウダーコーティング や焼付塗装などは禁物です。その際に必要な高熱によってコンポーネントが破壊される恐れがあります。また、炎天下の車内に保管したり、熱源の近くに置いておかないでください。

起最複構造のコンポーネントはすべてそうですが、カーボン製およびアルミニウム製の結合部ですべて使用することができます。硬化しないため、この用途に最適です。

CANYONアッセンブリーペーストを塗る前に、部品の表面の汚れや潤滑油の残りを取り除いてください。そしてきれいになった表面に、刷毛やヘラまたはタオルなどを使ってCANYONアッセンブリーペーストを薄く均一に塗ります。

ペーストを塗ったら部品を所定の位置に取り付けます。

CANYONトルクレンチが良質のトルクレンチを使って、所定の最大締め付けトルクを絶対に超えないようにしてください。ますますCANYONアッセンブリーペーストを使用すると、ペーストの塗りすぎに注意してください。

法定照盗抵保責任

欧州消費者保護法に基づき、お客様には購入者として購入日から二年の期間盗保責任請求権があります。この法律に従ってCANYON Bicycles GmbHは、CANYONコンポーネントにその部品や有用性を損なうような瑕疵がないことについて責任を負うものです。

欧州共貨保証法は、欧州法が適用される国においてのみ有効です。お住まいの国の規定については**「CANYON Bicycles GmbHにお問い合わせください」**の項をご覧ください。

法定瑕疵保責任の請求を行う前提条件となるのは意図された用途での使用です(**「初めて乗る前に・意図された用途」**の項参照)。

消耗(バーテープやグリップのすり減り)や走り(不十分な手入れと整備、過剰な使の切)や転倒、過着による過負荷、事故、保(修)やすきことの不適切な取り付けないし取り外しなどにCANYONコンポーネントの改造による過負荷などにより生じる損傷または対象外です。

取り付けに関する指示(特に締め付けトルクに関する項目)および整備に関する指示、また各CANYON製品と共に使用される各種製品のメーカーによる指示に従い、そのすべてを厳守してください。

記載されている対処方法や点検方法、部品の変色や亀裂がある場合など、安全に関する部品の交換に関する注意事項をすべてやってください。

安全に関する部品の取扱説明書は、後から読み返す際に容易に参照できるように、大切に保管しておいてください。

本説明書に記載項に関する追加の問合せ窓口はCANYONサービスホットライン 050-3786-8496 までお問い合わせください。

頻繁にあった場合や、保証に関する追加の問合せの窓口はCANYONです。保証の請求を処理するためには、ご購入を証明する書類の提示が必要です。

摩耗と劣化について

自転車のコンポーネントはその使用に伴って摩耗や劣化が生じますが、その程度は手入れや整備、自転車の使用量や紫外線、雨、泥、塩、粉などの環境によって変わります。

CANYONのコンポーネントには定期的な手入れや整備を必要とするものがあります。これらの整備を行った場合でも、どのコンポーネントもいずれは(使用頻度と使用条件により)時期が来るものの寿命を迎えます。

以下のCANYONコンポーネントはその機能に起因する摩耗や劣化が生じるため、製品保障責任は次の制限が対象外となります。

圧力や摩耗、汚れなどの影響を受けやすいゴムのグリップおよびバーテープ。

⚠ これ以外のコンポーネントについてはCANYONバイク取扱説明書か、お使いの自転車メーカーの取扱説明書をご覧ください。

保証

弊社では弊社のハンドルおよびステムについて購入日から2年間の保証を行っています。これに弊社ではクラッシュリプレースメントプログラムをご用意しております。

弊社の保証は、ご購入日から始まり、そのコンポーネントを最初に購入した人についてのみ有効です。塗装の損傷は保証の対象とはなりません。弊社は、不具合のあるコンポーネントの修理または適切な後続モデルへの交換のいずれかを行う権利を留保しております。これ以外の保証を請求することはできません。組み立て不備などのこれ以外の費用は、弊社では負担しかねます。

⚠ 互換性のないコンポーネントを取り付けることもボルト締め付けトルクの不具合や重大な転事故につながる恐れがあります。

推奨事項とハンドルはCANYON製ものの を常に一緒に使ってください。CANYONのコンポーネントであれ、相互に調整済みで、検査および設定されています。

他社製コンポーネントをCANYONのコンポーネントと組み合わせて使いたいお方は、その適合性確認と設定に注意をはらうことと、CANYONコンポーネントとうまく収が合うかどうか、また確実な使用が可能であるかどうか、互換性があることを確認してください。

⚠ お使いの自転車に取り付けられているカーボン製CANYONコンポーネントがお客様の走行方法、切欠や や亀裂、へこみ、変色などの外的損傷がある場合には、お使いのコンポーネントない自転車の使用を直ちにやめて、コンポーネントを交換してもらってください。強い負荷や転事、事故などがあった場合は、直ぎるコンポーネントを交換するか、CANYONに点検してもらう必要があります。

清掃と手入れ

CANYONのハンドルやステム、グリップ、バーテープなどは、定期的に柔らかい水で清掃してください。汚れが落ちにくい場合には、研磨粒子を含まない石鹸を使ってください。硬い表面にオイルやグリスがこびりついている場合には、お湯に石鹸の洗剤を少量入れてください。アセトンやクロロホルムを含む溶剤は使用しないでください。強力な溶剤と、塗料や素材を傷める恐れがありますのでご使用しないでください。

CANYONのコンポーネントが良く乾いたら表面(フレーム面とサドルは除く)に市販のワックスを塗ることをお奨めします。ワックスが乾いたらカーボンコンポーネントをスムーズに磨いてください。そうすればCANYONサービス部に依頼して点検してもらい、必要に応じて部品の交換や修理をしてもらいまします。

⚠ ワックスやグリス、オイルなどがリムのブレーキ面やディスクブレーキ部品に付着する場合は、ブレーキ制動力が著しく低下し、重大事故の原因にはまったブレーキが効かなくなる恐れがあります。

- サイズの合う交換用ベルクを使用してCANYONリムレンチの型に使用してください。
- 六角レンチを ボルトの穴にしっかりと差します。
- CANYONトルクレンチの取っ手を ゆっくりと回します。ボルトが締まるにつれて、針が目盛りの上を動いてゆきます。針が所定の締め付けトルクを示す数の位置に達したら留すのをおやめください。
- 締め付けトルクに達しない場合には、CANYONの指定トルクまで締めこんでください。

⚠ 互換性に関する疑問があるコンポーネントを使用してはいけません。複数が多すぎる場合には、CANYONサービスホットライン 050-3786-8496 にお問い合わせください。

⚠ CANYONのコンポーネントが損傷した場合には直ちに使用を中止してください。不安がある場合にはコンポーネントの交換をお奨めします。交換が承諾に関する問題には喜んでいます。

⚠ 十分な締め付けを得るために、CANYONカーボンアッセンブリーペーストを適切に塗って摩擦を高めるようにしてください。

CANYONアッセンブリーペーストの使用

カーボン製の部品は、締め付け力が強すぎることによる損傷を特に受けやすい性質があります。CANYONアッセンブリーペーストを使用すると、表面同士の密着度を高めることにより、締め付け力に必要な力を最大30%低くすることができます。

これは特に、ハンドルとステムやステアリングコラムとステムなどの二箇所の締め付け に重要です。締め付け力が強すぎることをコンポーネントが破損する恐れがあり、また保証が受けられなくなります。

CANYONアッセンブリーペースト(**5**)を使用することで締め付け力を低下させ、カーボン構造の破損を予防することができます。また、締め付け部から異音がすることを防ぐ効果もあります。さらに、防食性も最適で、濡れた状態でも最良を効果的に防止します。

⚠ 新しいCANYONハンドルを既存のステムに取り付ける際には、必ずまず使用していたハンドルを取り外して新しく、そしてその後、切欠をなどがないかどうかをすず入念に確認してください。締め付け部分に損傷がある場合には、ステムの加工が悪かったり、設置時に問題ある可能性があります。原因はCANYONのハンドルおよびCANYONのステムと共に取り付けることをお奨めします。

CANYONステムおよびハンドルバー/ステムコンビの取り付け

CANYONステム(**9**)は取り付け方向がご二種類あります。CANYONアッセンブリーペーストを使用した場合、ステムの上部のプレートとステムの間に0.2mmのすき間ができます。

フォークとお選びになったCANYONステムのクランプ径(**10**)が確かに一致していることを確認してください。

CANYONステム(**9**)のクランプ面(**6**)のフォーカに取り付ける際には、フォークの締め付け部分に切欠や摩耗がないかどうかお確認してください。もし目に見える損傷がある場合には、フォークの交換が必要となりますのでCANYONにお問い合わせください。

締め付け部分のどちらかがカーボン製の場合には、締め付け部分に絶対に油分が入っていないことを確認してください。CANYONアッセンブリーペーストの角を塗ります。アッセンブリーペーストを少し押し出して、ステムの内側とステアリングコラムの締め付け部分に塗布してください。

ステムの位置を調整する際には、ボルトを締めつけるために必要な締付トルクの値を守ってください。

ステアリングコラムクランプのボルトの ネジ山と頭部下側に良質なグリスを塗ります(**12**)。締め付け部分を清掃し、取り付けてください。

ハンドバーステムコンビ(**2**)の取り付け面に歪ができないようにしてください。

ステアリングコラムとフォークに嵌まます(**11**)。力を入れてなくても嵌まるのがベストです。ステムとフォークの間に歪ができないようにしてください。

ステアリングコラムの長さとご所望のステムの位置によって、ステアリングコラムの上にスペーサーリングの上および/またはステムの上にスペーサー(**14**)を技石の必要があります。取り付けるごとができるスペーサーの高さは最低値は5mmです。

スペーサーは各種の高さのものがあります。スペーサーはステアリングコラムステムと上端よりも2~3mm下で終わるような高さになるように高さを必要があります(**15**)。

十分な長さのステアリングコラムがステムの中に入っており、CANYONステムの上端よりも下にあるコラムの上端との距離が最大でも5mmになるようにしてください。そうすることで、規定の締め付けトルクでコラムクランプのクランプボルトを締めたときに、しっかりとした締め付け力を確実にを得ることができます。

お好みのハンドルの高さではCANYONステムスプアステアリングコラムのうと低い位置に来る場合には、スプアリングコラムがステムより上に突き出すことになります。ハンドルの位置がそれよりさらに高くなる場合には、スプアリングコラムの上端にスペーサーの上端の 2 mm下になるように調整してください。この状態で試乗を行う際、ハンドルは、特にカーボン製フォークの場合に必ず締付トルクを守るようにしてください。そうしても うまく調整ができない場合は、CANYONにご相談頂けます。

以下のCANYONコンポーネントはその機能に起因する摩耗や劣化が生じるため、製品保障責任は次の制限が対象外となります。

- CANYONのハンドルやステムを改造したり、穴を開けたりしないでください。ハンドルもしくはステムが破損して、走行時に重大な事故につながる恐れがあります。CANYONコンポーネントの改造や切断、穴開けなどを行った場合には、CANYONの保証を受けられなくなります。
- 指示に従って作業を始める前に、すべてのコンポーネントについて他のメーカーの取扱説明書もよく読んでください。

AHEADSET ステアリングヘッドの調整

ステアリングヘッドの調整は熟練した自転車整備工の仕事です。この作業は自転車メーカー、経験の豊富な自転車専門店に委託することを奨めします。

ステアリングヘッドの上ねじ部にスペーサーリングを取り付けます。ステアリングヘッドの上ねじ部に取り付けるスペーサーリングの数は、ステアリングヘッドの上ねじ部にスペーサーリングを取り付けるまで